



せいひ会だより

2017年(平成29年)
6月1日発行
<第206号>
社会福祉法人せいひ会
<http://www.seihikai.jp/>



端午の節句

5/5、端午の節句にちなんで、小規模多機能じゅげむで流鏝馬大会が行われました。菖蒲湯に浸かって英気を養った後は、馬の代わりに車椅子、弓矢の代わりに吹き矢を構え、兜をかぶっていざ出陣！！的にめがけて吹いた矢は、ど真ん中に当たった方もいれば、力なくヒョロヒョロと的まで届かなかった方も。室内を泳ぐ大きな鯉のぼりに見守られ、童心に戻って楽しんでおられました。

5月の行事

- 05日 端午の節句(GH・通所・風和・じゅげむ)
- 14日 母の日(GH・通所・風和・寿限無・じゅげむ)
- 18日 運営推進会議(寿限無)
- 24日 通報訓練(寿限無)
- 26日 避難訓練(風和)

6月の行事予定

- 11日 芋さし(GH)
- 16日 運営推進会議(GH)
- 17日 父の日(寿限無・じゅげむ・風和・GH)
- 24日 歌の発表会(風和)
- 27日 夜間想定消防総合訓練(シニアヴィレッジ)

衣替えについて

衣替えの時期になりました。夏物の衣類を準備して頂き、冬物の衣類の持ち帰りをお願いしております。お持ち込みの衣類には、すべてお名前をご記入ください。(持ち主不明で、衣類の迷子が発生しています。)

- ①記入した名前が消えてませんか?
- ②直接書けない衣類には、別布に名前を記入して縫い付けて下さい。

5月生まれの皆様、お誕生日おめでとうございます



奥井伸一様 里 ミネ様 酒井 多慶子様 大坪公子様



前田 ユキノ様 松本 ミツ様 三枝 ミヨ様

山脇 カナ様



中村 加代子様 今回は通所介護：中村加代子様にお話を伺いました

昭和24年、西彼町宮浦で4人兄弟の末っ子として生まれる。子供の頃は、おてんばで負けず嫌いだったようだ。「走ることや運動は何でも好きでした。」と話される。当時は走ることによって1等になると鉛筆をもらえたそうで、「鉛筆ばかりもらって、買わなくてもいいほどだった」と、笑いながら思い出を語られた。大人になってからは、店の店員やバスガールなどの職に就いた。バスガールの仕事は、「カチカチと切符を切るのが楽しかった」

「地図や場所の名前を覚えることは、慣れれば何でもなかった」と話される。22歳で結婚、4人の子宝に恵まれる。自宅では御長男家族と同居されている。「孫はとてかわい」「おゆうぎ会でしっかり踊りを覚えていて、感心しました。」とのこと。現在は通所介護を利用され、「ここに来て、みんなと会い、お話しするのが楽しみです。」と、にこやかに話されていた。これからも、楽しく元気にお過ごしください。

Vitality Space

バイタリティー・スペース



通所共同作品



じゅげむ：山本一枝



風和：井手カズエ



寿限無：松江恵美子



通所：荒瀬美智子



じゅげむ：高松恵美子



通所：秋浦克敏



じゅげむ：山田チヨ子



風和：中尾富子

ランドセル
後ろ姿の
可愛さよ
(風和) 北ユニ
ット合作

母の日に 贈る人なし
贈ってくれる子も逃きて
寂寂涙のその日
スタツフが贈ってくれた
ありがとう！ありがとう！
ありがとう！ありがとう！
いつまでも
私の子でいて下さい
感謝
(通所) 竹下晶子

新人職員紹介



居宅介護支援事業所
高増 健太さん

居宅介護支援事業所の高増と申します。よろしくお願ひ致します。ケアマネージャーとしておりますので、介護保険等のご相談は、遠慮なくお尋ね下さい。

元亀の里トレーニング紹介

④ホリモンタルレックフレスの巻



次回
『プレステップの巻』

膝や足の筋力を付け、立ち上がりや歩くことをスムーズにできるようにするものです。
「一年前に比べ、おもりを上げできるようになった。軽いと思えるようになり嬉しい！」「太ももに効いている。実施後は足が軽く感じる」との声が！

Mother's Day Mother's Day Mother's Day

母の日

Mother's Day Mother's Day Mother's Day



【GH】
翠風・爽月ユニット合同で、ご家族も参加してミックスフルーツ白玉づくりをしました。女性利用者へは、手作りの感謝状も贈呈されました。



【風和の里】
毎年この時期は、お花を持って面会に来られる方が多く、今年もたくさんのお花が届きました。「自分の子供からもらうお花が世界で一番きれい。嬉しか。」と、とても喜んでおられました。



【通所】
お母さんに関するエピソードを皆さんから集め発表すると、涙ぐむ方も。野菜の重量当てクイズでは、みなさんおおいに盛り上がりました。

端午の節句

風和



各ユニット内で、魚釣りゲームや歌会を楽しんだ皆さん。お茶会では、長崎のご当地和菓子・鯉菓子を味わい、楽しいひと時を過ごしました。

通所



端午の節句に合わせて、菖蒲湯に浸かりました。独特の香りに、「涼しか香りやね〜」「ありがたい！」と、皆さん大満足の様子でした。

ずいずい
随・随

ずっころばし

せいひ会の職員が、思うがままをリレー方式で綴るコーナー。今月は、グループホームせいひ・横瀬さんです。

田植えも間近なある早朝、最低限のルーティンを済ませ車に飛び乗った。対向車はほとんどなく、微かに見え始めた山の端と、ヘッドライトに照らされ逃げ惑う野兎以外、気になるものはない。助手席でけたたましく悲鳴を上げる、携帯アラームの音さえも・・・。
到着後、ウェーダーを着込むと、足早に通い慣れた道を進み、膝まで海水に浸かる。風向、潮流共に右から左。選抜されたルー達の中から更に一つを選び、二時の方向へフルキャスト。私はこの日も釣りに没頭していた。
東雲を背に臍気だった稜線が映える。
かなり上手くなったウグイスのさえずりに耳を奪われて程なく、竿先に魚信を感じ、即座に竿を煽る。手元に伝わる重量感と、海面に半分近く飛び出した魚体から大物を確信した。

「鱸だ・・・」
独特なエラ洗いを堪能しながら慎重に寄せ、何とか獲物を手中にすることが出来た。が、私の釣りがこれで完結したわけではない。
家路につくと妻と娘の苦言をスルーし、まな板に向かう。獲物が刺身と潮汁へ姿を変えると、家族の苦言は許容へと様相を変えた。
夕飯時、釣行後の疲労は最高の酒の肴だと再認識し胃袋に焼酎を流し込むことで、あるいは釣行時の小さなハブニングを武勇伝として一方的に家族に語ることで、私の釣りは完結し、生活の質は最高水準のものとなり得る。
生活の質とは？次の休日も竿を振ることだろう。家族と天候が許せば、だが・・・。